

景観木工品の設置による上田市街地の景観形成を中心とする、 地域材カラマツの新たな活用の実践

取組に至る背景・事業の目的

- 平成 21 年に、地域材カラマツの間伐材を活用した木製品（以下、景観木工品）の設置による市街地の景観整備を実施したところ、大変好評を得、景観木工品の継続設置の要望があった。
- 景観木工品の設置による市街地の景観整備と、市民の景観形成への意識向上及び森林整備への関心を高める。
- 景観木工品の普及による森林業から木工業への地域材活用範囲の拡大を図る。
- 間伐材利用の多様化を図り、新たな木の文化を創出する。

事業内容

- 整備の必要な森林の間伐材を有効利用した景観木工品の製作（写真上）
- 景観木工品の市街地への設置
例）駐車場の金網沿いに景観木工品を設置（写真下）
- 景観木工品の設置及び補修について、市民と協働で実施できるように、景観木工品メンテナンス講習会を開催
- 地域の森林整備について意識啓発を図るため、木の専門家を招いて講演会を開催



【 地域材カラマツの間伐材 】

事業効果

- 地域性を考慮した、美しい景観形成の促進につながった。
- 市民の景観形成への意識向上及び地域の森林整備への関心が高まった。
- 中心市街地の活性化及び観光客に景観整備への取組を発信できた。
- 間伐材の新たな活用先の提案と、景観形成資材としての利用促進による、地域林業・木工産業の活性化につながった。
- 森林整備による森林の二酸化炭素吸収及び間伐材の製品化による二酸化炭素固定効果が期待できる。



【景観木工品を設置した駐車場金網】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 市民の自主的な活動による景観木工品の製作及び設置に対するサポートに取り組む。
- 市民、企業、法人、団体、地域自治体との連携及び協働による活動の拡大につなげる。
- 長期事業継続のための財源確保の仕組みをつくる。
- 林業分野、観光分野等、異なる分野の仲立ちをしながら地域材活用、観光、商店街活性化など、総合的な地域活性化を目指す。

【選定のポイント】

地域材カラマツを利用した景観木工品の設置により、地域性を考慮した景観形成に寄与した。また、地域他団体とも連携しており、今後の活動の広がりが期待される。

団体名 NPO法人フォレスト工房もくり（上田市）
連絡先 長野県上田市真田町傍陽 9022-2
TEL 0268-61-5488
メールアドレス info@mokuri.or.jp

事業タイプ ソフト事業
事業費 3,307,874円
支援金額 3,307,000円